

### 3 人を惹きつける地域づくり

#### (1)人口減少対策 ⑥労働市場の流動化

##### 国への提案事項

#### 1 リスキリングの推進

- 令和8年度に国において、スキル情報基盤(デジタル人材育成エコシステムプラットフォーム)の実装が予定されているが、企業が経営戦略上必要とする人材要件に即した統一かつ適正なスキル標準の整備・見直しを保有スキルの証明と一体で推進するとともに、中小企業でも活用可能なスキル情報基盤等の普及を図ること。
- 社会人に共通して求められるデジタル基礎知識の習得は、デジタル化対応を急ぐ我が国においては業界や業種を越えた社会的要請に応える能力開発であるため、必要経費に対する補助制度など、公的支援制度として恒久化すること。

## 国への提案事項

### 2 労働市場の流動化を踏まえた社会システムの構築

#### 【柔軟性のある労働市場の形成】

- 労働者、企業それぞれが学び直しを推進できるよう、個人への直接支援策の拡充のみならず、経営者が従業員等の学び直しに積極的に取り組める支援策にも重点を置いて継続すること。（人材開発支援助成金における時限措置が設定されている支援コースの恒久的制度への見直しなど）

#### 【幅広い求職者への就労・活躍支援】

- 就職氷河期世代を含む中高年層を中心とする幅広い求職者への安定就労に向けた支援のため、引き続き、協議会を設置するとともに、就職氷河期世代等に対する就労支援のための財政措置を講じること。

#### 【人への投資拡大による企業価値の向上】

- 労働力人口の減少やデジタル技術の進展等により産業構造が変化するとともに、労働市場の流動化も進む中、上場企業等のみならず、非上場企業も含めた人的資本経営の実践や開示に向けた機運醸成に取り組むこと。

【提案先省庁：内閣府、デジタル庁、厚生労働省、経済産業省】

### 3 人を惹きつける地域づくり

#### (1) 人口減少対策

##### ⑥労働市場の流動化

## 国の取組状況

- 「三位一体の労働市場改革」の柱として、リスキングによる能力向上支援、個々の企業の実態に応じた職務給の導入、成長分野への労働移動の円滑化が引き続き重点施策となっており、令和7年6月に「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2025改訂版」に反映されている。

## 現状／広島県の取組

- R5.7にとりまとめた公労使で構成する協議会の最終報告書に基づき、リスキングの気運醸成を目的としたセミナーの開催や、県内企業のリスキング実践に向けた伴走型のコンサルティング支援などを通じて、県内企業におけるリスキングの促進を図っている。
- 都道府県ごとに関係機関や団体を構成員とする「中高年世代活躍応援プロジェクト都道府県協議会」を国と共同設置し、「地域就職氷河期世代等支援推進交付金」を活用しながら、就職氷河期世代を含む不安定な就労を繰り返し就職に支援が必要な者に対し、安定就労の実現と活躍の場を拡げるための支援に取り組んでいる。
- R6.11に自社の人材に関する現状、育成の取組などを可視化する「広島県人的資本開示ツール」を開発し、研究会会員企業に提供するなど、開示を起点とした人的資本経営の実践支援に取り組んでいる。

## 課題

- 成長分野への円滑な労働移動の実現に向けては、労働者のリスキングの効率的かつ早期の実施とともに、労働市場の流動化を踏まえ、これまでの雇用慣行をより良い方向に変化させていくため、柔軟性のある労働市場の形成・労働者の自律的なキャリアの形成・人への投資拡大による企業価値の向上が必要である。
- 就職氷河期世代を含む不安定な就労を繰り返し就職に支援が必要な者への就労支援にあたり、協議会の設置及び交付金の維持が必要である。
- 人的資本経営の推進に向けては、県内企業に対して、取組の成果の見える化や取り組むことへのメリットを訴求していく必要がある。

